新年のごあいさつ



菊陽町議会議長

招いての研修会や、 空港民営化に合わせた、空港までの公共交通ア 災対策を講じていかなければいけません。私ど クセスの推進について議長会議、県担当局長を 益城・西原)の取り組みとして、阿蘇くまもと も議員も、議会災害対策会議設置要綱等に則り こるか分かりません。今後も緊張感をもって防 きな被害をもたらしております。天災はいつ起 震から2年8カ月が経ち、町内外で復興も進ん 大規模災害が相次いで起きた年でした。熊本地 昨年を振り返りますと、大阪北部地震、西日 責任を果たしてまいります。 空港周辺4カ町村議会(大津・菊陽・ 自然災害の猛威は毎年全国で大

運を逃さず進めてまいりますので、皆さまのご 行ってまいりました。県も具体的な検討を再開 4カ町村議会連携しながら、この機 各町村長への要望活動を

を通じて議会改革に取り組んできましたが、 今議会の任期もわずかとなりました。任期中

緑 未来輝く生活都市 を迎えました。 理解と温かいご支援、ご協力を賜り、 新春をお迎えのことと心よりお喜び申し上げま 本町は、今年1月1日に町制施行から50周年 町民の皆さまにおかれましては、平成31年の

町政の運営に対しまして、

菊陽町長 三雄

るとともに、これからの新しい時代の菊陽町を 陽町を支え、創り上げてこられた先人に感謝す 代が始まる節目の年でもあります。今日まで菊 築くため、決意を新たにしているところです。 年は平成という一つの時代が終わり、新たな時

この5年間で町並みも大きく変わりました。今

現在では約4万2千人となり、 昭和4年町制施行時の人口1万

所である地区公民館の防災機能の強化支援を行 旧・復興に取り組んできましたが、まだ道半ば 被害を受けられた方々の生活再建を第一に、 拠点とした防災センターの整備、身近な避難場 にあります。今後も防災広場の整備や町役場を 「熊本地震」から2年8カ月が過ぎました。 創造的復興を更に加速させ、

入ってきました。蒲島県知事が県議会において 大きなニュースが

> 分岐し、県民総合運動公園を経由し、阿蘇くま 開港当時からの懸案事項であります。 もと空港へとつなぐ案が示されています。 した。ルートは、JR豊肥本線の三里木駅から から空港までを分岐延伸する考えを表明されま アクセス改善のため、 JR豊肥本線の三里木駅

協力してまいりたいと考えています。 すが、この計画の実現に向けて、積極的に県に 今後、本計画の詳細が明らかになると思いま

化やスポーツを楽しみ、教育を十分に受けられ 民の皆さまの声に耳を傾け、全力で取り組んで る、安全で安心される町の将来像「人・緑 るなど産業振興にも力を入れてまいります。 農業の生産力向上のため、農地の集積集約を図 積極的に進めるとともに、 路の整備や新たな工業団地の整備と企業誘致を のある豊かなまちづくりを進めるため、幹線道 刻々と変化していく中で、 これからも子どもから高齢者まで、健康で文 このように本町を取り巻く社会・経済情勢が きくよう」の実現のため、 今後も町では持続性 町の基幹産業である

ますよう、心からご祈念申し上げまして、 本年が災害のない平穏な一年となり

達のものも多く及第点には届かないと反省をし

こととお慶び申し上げます。旧年中も議会に対 さまにおかれましては輝かしい新年をお迎えの しまして並々ならぬご厚情を賜り、厚く御礼申 明けましておめでとうございます。町民の皆

ております。

「議会棟がなぜ最上階にあるのか」、

引き続き、改選後も進めてまいります。

見聞を重ね、議会の役割と責任を果たせるよう 議員全員がしっかりと理解し、先進事例に学び、

菊陽町は菊池郡市と空港周辺町村の中心に位 今後も英知を集め、

割」と「責任」を果たしてまいりましょう。 民・行政・議会一体となって、それぞれの「役 大局から政策を遂行する「まち」として、 にはその責任があります。 町村が人口減少傾向の中、発展している「まち」 に発展をしていかなければなりません。 として副都心的役割を果たし、 市に隣接する中核市(20万人)規模の地域の中心 しいまちです。県全体の浮揚のためにも、 置します。交通アクセスや地の利も良く素晴ら

声を届け、 なりますようご祈念申し上げ、 い年でありますように、菊陽町が安寧な一年に ために、議員団結して取り組んでまいりますの の皆さまと語り合う場を設け、真摯に耳を傾け 結びに、皆さまにとりまして本年が素晴らし 本年も、広聴と情報の公開に力を入れ、 菊陽町議会をよろしくお願い申 活かし、希望を持てるより良き町の

つといたします。

きくよう